

## 大正大学が中津川市で 40 日間の域学連携活動に取り組みます

中津川市と大正大学（東京・巣鴨）との包括的な連携協定に基づく域学連携活動を阿木地域、付知地域、加子母地域で開始します。これに先立ち、9 月 18 日青山市長より学生へ「依頼書」を交付します。

### 1. 大正大学の地域実習

約 40 日間にわたる地域での実習に取り組みながら、地方と都市の両方の視点から地域問題にアプローチできる力を習得させ、さまざまな地域から受け入れた学生を地域へと回帰させることで、地域創生に貢献できるリーダーの育成を目標とし、阿木地域、付知地域、加子母地域で域学連携活動を実施します。

#### ■期 間

令和元年 9 月 18 日（水）～令和元年 10 月 29 日（火）

※9 月 18 日（水）～20 日（金）は市内全域を学ぶ研修を行います。

※10 月 29 日（火）には、活動の成果報告会の実施を予定しています。

#### ■学生数

地域創生学部	1 年生（阿木地域、付知地域）	7 人	
	3 年生（加子母地域）	14 人	計 21 人

#### ■テーマ

「関係人口の創出」

※3 年生は個別に設定したテーマのもとに活動します。

#### ■その他

- ・今回実習を行う 1 年生は、令和 3 年に再び阿木地域、付知地域に入り、実習を行います。
- ・3 年生は平成 29 年度に加子母地域で実習を行った学生が主に参加します。
- ・3 年生の一部は、阿木地域や中津全域をフィールドに活動を行います。
- ・大正大学と中津川市は、平成 29 年 8 月 28 日に包括的連携協定を締結しています。

#### ■3 年生の 1 年次の活動内容

- ・新たな広報システムに付加する地域経済循環機能を提案。地産地消の促進。
- ・観光ブランディング、モデルコンテンツの web 発信。加子母地域の知名度の向上。観光客の受け入れ態勢の確立。

## 2. 依頼書交付式

大学独自の方針により、学生一人一人に自覚を持って域学連携活動に取り組むよう促すため、市長から学生へ依頼書を交付します。

### ■日 時

令和元年 9 月 18 日（水） 15 時 15 分～15 時 45 分

### ■場 所

中津川市役所 4-3 会議室

### ■内容等

- ・開 会
- ・概要説明
- ・依頼書交付 代表受領：小野 涼太（地域創生学部 1 年）
- ・大正大学 学生代表あいさつ：小野 涼太
- ・大正大学 担当教員あいさつ：山中 昌幸専任講師
- ・市長あいさつ
- ・閉 会

お問い合わせ先

定住推進部 市民協働課 担当者：林

電話：0573-66-1111（内線 327）